

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
目 的	「技術」「感性」「知性」「時代性」の各々の要素のひとつひとつを培うことによって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「できあがった高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	ファッション専門 課程	ファッションクリエイター 夜間学科	3年夜	1718単位時間 (又は単位)	文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	287単位時間 (又は単位)	137単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1294単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	66人	3人	4人	7人		

学期制度	■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～4月7日	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の 課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	■クラス担任制 (有無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人 面談など	課外活動	■課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア ■サークル活動 (有・無)

主な就職先	<p>■主な就職先、業界 アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</p> <p>■就職率 75%</p> <p>■卒業生に占める就職者の割合60% (平成26年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 パターンメイキング検定 等
-------	--	---------	-------------------------------

中途退学の現状	<p>■中途退学者 12 名 ■中退率 16.7 %</p> <p>平成26年5月1日在学者 66 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成25年3月31日在学者 72 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組 担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>		
ホームページ	URL: http://www.ucf.jp/		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月16日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長

(開催日時)

第1回 平成26年9月27日 14:00~15:30

第2回 平成26年2月13日 17:00~18:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
実習	メンズシャツの製作	シーアトリエ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
藤本 栄子	ファッションクリエイター学科学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションクリエイター夜間学科) 平成26年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	法方業授			所場		員教		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			実習Ⅰ	高品位な衣服を製作し、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。基礎縫い・スカート・ブラウス・ワンピース・ツーピース・部分縫い(パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート)等基礎的な衣服を製作する。	1通	216		△		○	○		○		
○			実習Ⅱ	レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。	2通	216		△		○	○		○		○
○			製図(パターンメーキングⅠ)	教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート等に作図、整理することを通して、より高品位な製品作りの基礎となる知識・技術を修得する。	1通	162		△		○	○		○		
○			パターンメーキングⅡ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	2通	108		△		○	○		○		
○			ドレーピングⅠ	ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに作成する。	2前	54		△		○	○		○		
○			ファッションドローイング&デザインⅠ	ファッションデザイン、プレゼンテーションに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の技術と知識をテーマに添った課題を制作することによって習得する。また、そのために必要な情報収集技術や活用法、発想法を考察する。さらにファッションデザインの変遷と、民族・習慣による衣服の差異について理解を深めるための講義と演習を行う。	1通	108		△		○	○			○	
○			ファッションドローイング&デザインⅡ	現在のアパレル商品の基本的なアイテムを実物サンプルを用いながら研究し、素材表現と合わせてスタイル画として描画することにより現在の市場に即した企画デザインの商品の特徴を備えたスタイル画を描画することを修得する。また消費者側から機能性から多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。	2通	108		△		○	○			○	
○			服飾素材論Ⅰ	講義によりアパレル素材の基本知識を体系的に修得する。またファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。	1前	12		○			○			○	
○			服飾素材論Ⅱ	ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。	2前	15		○			○			○	

○		テーラリングテクニック	多様な基礎縫いや部分縫いの実習を通して衣服を製作するための縫製技術を修得する	1 前	54															
○		コンピュータ演習Ⅰ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成する。メールアドレスの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける。	2 前	24					○	○			○						
○		コンピュータ演習Ⅱ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	3 前	25					○	○			○						
○		ファッションビジネス論Ⅰ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	2 前	15			○	△		○	△							○	
○		ファッションビジネス論Ⅱ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	3 前	29			○	△		○	△							○	
○		RTW技術	多様な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様様の理解を深める。また、各自の創造性を生かした作品を製作発表することにより既製服のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。	3 通	216				△		○	○						○		
○		パターンメイキングⅢ	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	3 通	108				△		○	○							○	
○		特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 2 3	30					○				○						○
○		研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	16						○		△	○	○					
○		研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2 通	20						○		△	○	○					
○		研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	3 通	20						○									○
合計			20 科目																	1718 単位時間 (単位)
卒業要件及び履修方法										授業期間等										
規定の出席を満たし、規定の課題をすべて提出し、試験に合格すること										1 学年の学期区分					2 期					
										1 学期の授業期間					1 5 週					

(留意事項)